



主に沿岸部の砂泥底部で、底層に張り付くか浅く潜って生息する。体色は底の色に擬態する。

コチ科 コチ属

【全長】50cm前後

マゴチ(クログチ)

俗名:コチ

学名: *Platycephalus sp*

分布域

新潟県・茨城県以南の本州と
四国・九州・南西諸島に分布する。

生息域

主に沿岸域や内湾の砂底部に生息し、汽水域にも侵入する。



北潟湖の汽水域で採れた若魚。約10cm

全長は50cm前後～最大で80cmに達する。雌雄で成長差が大きくメスが大型化する。以前は性転換すると言われていた。体形は著しく縦扁し頭部は大きく平たい。口は大きく下顎が突出する。眼は小さく、吻は丸い。胸鰭と腹鰭は大きく左右に開く。体色は背面が暗茶褐色で暗色斑点が散在し、腹面は白い。沿岸部の水深30mほどの砂泥底部、底層に生息するが、汽水域にも侵入する。食性は動物食性で甲殻類や底生動物・小型の魚類などを食べる。産卵期は初夏。海岸近くの浅場で産卵する。水槽での飼育は丈夫で容易。海水を50%以上混ぜた汽水～海水を用いる。餌は活きたゴカイや甲殻類・小型のハゼの仲間などを与える。

在来種

周縁魚

※ 学名はまだ決まっていない。厳密にいうとコチの一種とすべきか。夏が旬の高級食材で釣りの対象魚としても人気が高い。近縁種にヨシノゴチ(シロゴチ:主に太平洋側に分布)が知られる。